

資源マップも更新中です

帯広市内と近郊の就労系障がい福祉サービス
事業所への聞き取りを随時進めています



令和2年12月8日(火)～10(木)

障がい福祉サービス事業所
きらり(帯広市)

障がい福祉サービス事業所
音彩(音更町)

就労継続支援B型事業所
きずな(帯広市)

合同会社 虹

障がい福祉サービス事業所 就労継続支援B型 きらり(B型)

平成30年より開設された「きらり」ですが、今年の8月に新たな拠点として『音彩』が立ち上がり、現在では「きらり・なないろ・音彩」の3つの拠点で活動を進めながら、利用者の状況に合わせ柔軟な関わりができるよう、体制が整えられているとのことでした。

きらりでは現在B型の機能での活動をしていますが、「通過型の事業所」という発想を既存の利用者や新規の利用希望者との共通認識の上で取り組んでいます。その上で、個別の目標をもとに、事業所内での段階的な活動や、一般就労を目指される方のバックアップやサポートをされ、毎年数名の就職者が出ているとのことでした。

そして、個別相談にまつわる関係機関のみならず、地域の様々なコミュニティとのつながりを持ち、最近では企業とのつながりや関わりも増えているなど、事業所内外での活発な活動の様子について伺うことができました。



管理者の高橋さんにご対応いただきました。

障がい福祉サービス事業所 就労継続支援B型 音彩(B型)

次は、同じく合同会社 虹の『音彩』の報告です。音彩では事業所内に厨房を持つことからお弁当の配食サービスの仕事があり、その他にも右の写真にあるようなガラスアート作成等の細かな仕事もあるとのことでした。

現在利用されている方の中には、ご自身で今後の方向性や目標をしっかり見定め、先の見通しをもって活動される方がいる一方で、ただ漠然と「就職をする」という思いをお持ちの方もいらっしゃることで、そういった方への就職への希望や、業種などのイメージを、より具体的にすることや、モチベーションを上げていくための工夫や関わり合いの方法について、日々模索されているようでした。

また、支援活動の中で悩まれている職員向けに、基礎的な障がい特性を学ぶ機会や、その中でも特に、精神障がいや発達障がいに関することや特性に応じた就労支援のポイント等を学ぶ機会の必要性を感じている状況についてお声を頂きました。



管理者・サービス管理責任者の山口さんにご対応いただきました。

株式会社ワークアース 就労継続支援B型事業所 きずな(B型)

株式会社ワークアースでは、今年度新たに『きずな西3条』が立ち上がり、『きずな法人本部・きずな西』との3体制となり利用定員の変更等があったようです。

現在きずなでは、事業所に安定的に通うことを目標とされている方が多く、些細な変化が大きな変化に繋がりがやすいことから、丁寧且つ慎重に活動の度合いを測っていくことが多いとのことがありました。またその経過には、相談支援専門員との連携を取っており、第3者の目も定期的に交えながら、個別の活動や目標に向けて進められているとのことでした。

そして、日々対象者への関わりで迷い悩むことは尽きないとのこともあり、そういったことを他事業所等と気軽に情報交換ができる場があると良いとの率直な意見もあげられました。このコロナ禍の状況もあり、「どうモチベーションに働きかけられると良いのか」等、ざっくばらんな検討の場を求められているようでした。



取締役部長の谷澤さん、(右)、サービス管理責任者の木村さん(左)にご対応いただきました。

今後も訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします